

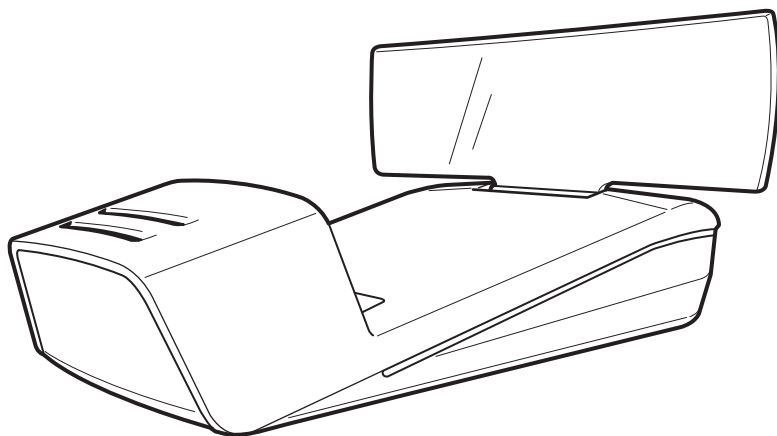


HUD

形名

DU-200HU

取付要領書



この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

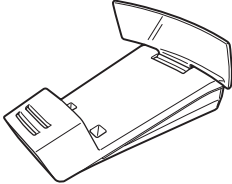
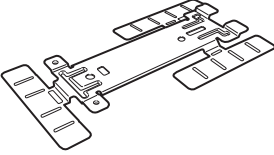
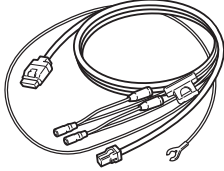



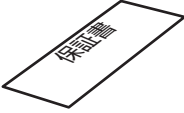
本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後、「保証書」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本書を付けてお譲りください。

同梱物

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

① HUD 本体 × 1 	② 取付ブラケット × 1 	③ 接続ケーブル × 1 
④ 取付ネジ × 2 	⑤ クランパー × 4 	⑥ 取付要領書 (本書) 
⑦ 保証書 		

仕様

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	165mm × 100mm × 210mm
質量	380g
画面寸法 (幅×高さ×対角)	165mm × 51mm × 173mm (6.8inch)
画素数	76,800画素 (横480 × 縦160)
表示方式	透過型
使用光源	LED

もくじ

■ ご使用前に.....	2
免責事項について	2
ご使用上の注意	2
お手入れのしかた	3
お客さまへ安全上のご注意.....	4
■ 本機について	8
各部の名称とはたらき.....	8
操作方法について	8
■ 本機を取り付ける	9
取付位置について	9
ブラケットの取り付け.....	10
本体の取り付け	11
取付・配線例.....	12
■ 接続方法.....	13

ご使用前に

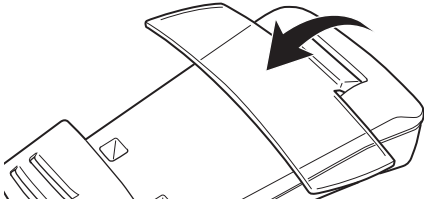
免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 表示される情報はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ルート案内や右左折などの案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため本書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 誤使用や静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより、本機が正常に動作しなくなった場合の補償はいたしかねます。

ご使用上の注意

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 操作するときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
 - ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 本機が高温になると、液晶画面の明るさを自動調整する場合があります。
- 本機を使用中に、疲労や不快などを感じたときは、ただちに使用を中止してください。そのまま使用をつづけると体調不良の原因となることがあります。
- 近視や遠視、乱視の方や左右の視力が異なる方は、眼鏡の装着などにより、視力を適切に矯正した上で本機をご使用ください。
- 偏光サングラスを使用すると、ディスプレイ表示が見えなくなる場合がありますのでご注意ください。

- ディスプレイに保護シートなどを貼らないでください。視認性が損なわれます。
- ディスプレイを通して直接太陽を見ないでください。
- 長期間使用しない場合は、ディスプレイを倒してください。



お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 液晶画面やディスプレイが汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布を使用し、指の腹で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。液晶画面やディスプレイを傷つける恐れがあります。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。** 前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。** 火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。** 発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する。**
誤って、飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- **本機を日の当たる場所に放置しない。**
ディスプレイに直接日光が当たると虫眼鏡効果により光が集光し周辺の発煙、発火の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いが出るなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。



接触禁止

- 液晶画面表示中は直接手で触れない。液晶画面表示中は液晶付近が異常に高温になる場合がありますので、直接手で触れないでください。液晶画面の汚れを拭き取る時などは、高温に十分注意してください。

■ 取付・配線時などのご注意

警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。
- 適合車種以外には、絶対に取り付けない。
交通事故やけがの原因となります。
適合車種は、当社の調査基準に基づいた結果であり、運転者本人の座高や運転姿勢、シートポジションにより結果が変わることがあります。そのため、適合車種であっても運転者本人が着座した状態で、以下の問題が発生し、適合不可となることがあります。
必ず取り付け前に、運転者本人が着座し、以下の問題がないことを確認してください。
 - 一部ディスプレイが隠れる
 - 正常にディスプレイを見ることができない
 - 前方視界が確保できない
 - 信号機・交通標識・看板の視認性が確保できない
 - 運転操作に支障が生じる適合車種については、当社サイトをご覧ください。
適合車種の情報は、対象車両の発売当初のものであり、グレードや仕様、製造時期の違いによって、お客さまのお車に適合しない場合があります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。
誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。
ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。
正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

注意



- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。
外れて落下し事故やけがの原因になることがあります。



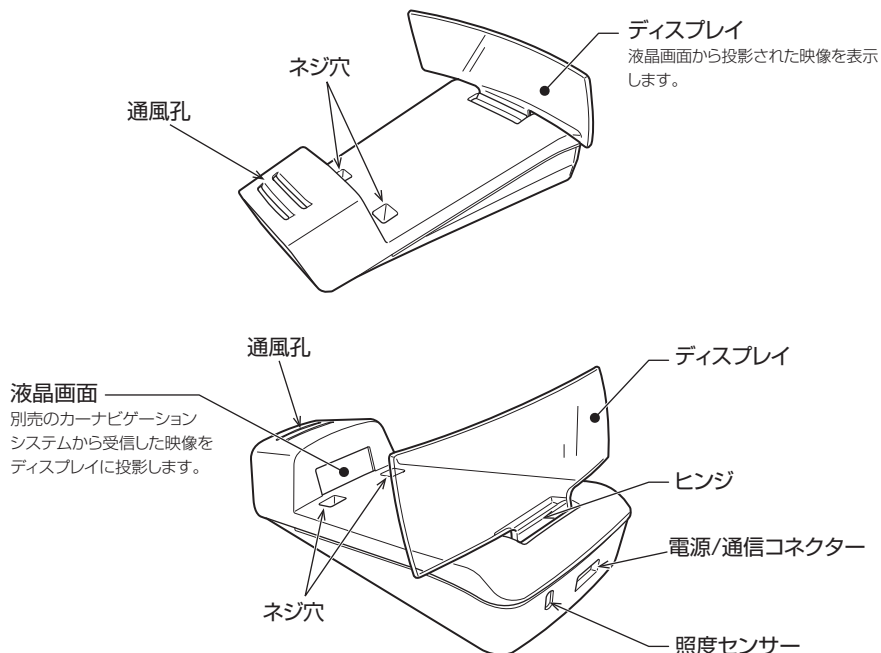
- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



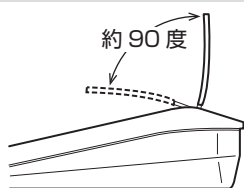
- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。
付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 本書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機について

各部の名称とはたらき



注意



- ディスプレイの可動範囲は、約90度です。可動範囲を超える角度に曲げると破損しますので注意してください。

操作方法について

- 本機には電源のON/OFF ボタンがありません。
- ディスプレイ表示のON/OFFは接続されている別売のカーナビゲーションシステム側から行います。詳しくは、接続されているカーナビゲーションシステムの取扱説明書をご覧ください。

本機を取り付ける

取付位置について

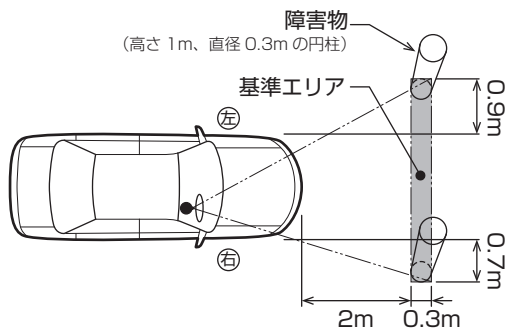
本機を車両に取り付ける場合、国土交通省が定める保安基準に適合させる必要があります。特に保安基準21条（運転者席）、保安基準29条（窓ガラス）、保安基準44条（後写鏡等）を取り付ける前にご確認ください。

最新の保安基準については、国土交通省のホームページをご覧ください。

■ 直接前方視界の確保

右ハンドルの場合、図の基準エリアにある障害物の一部が鏡やカメラ画像を用いずに直接的に運転席から視認できること。

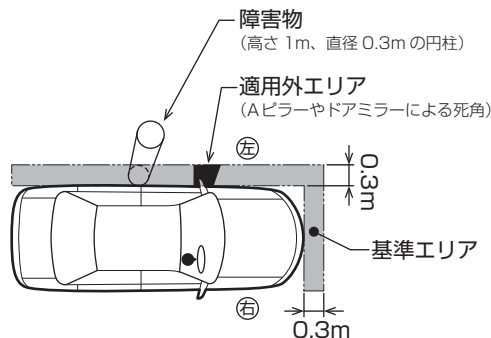
※ 左ハンドルの場合、図の基準エリアが左右逆となります。



■ 直前直左視界の確保

右ハンドルの場合、図の基準エリアにある障害物の一部が直接的または間接的（鏡やカメラ画像を用いて）に運転席から視認できること。

※ 左ハンドルの場合、図の基準エリアが左右逆となります。



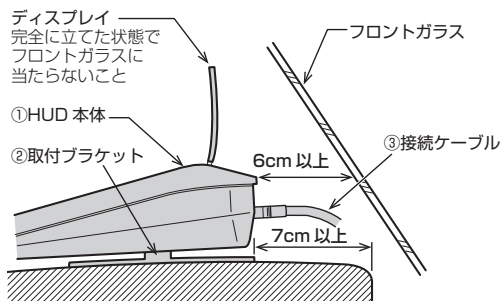
■ クリアランスについて

前方のクリアランスは右図の通りとしてください。

注意

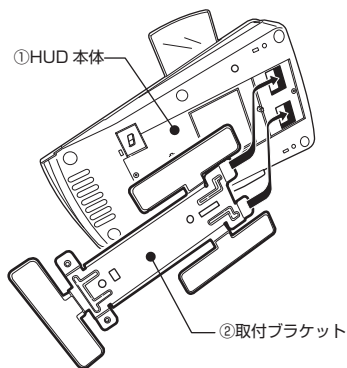
・ 右図のクリアランスを確保せずに取り付けると以下事象の恐れがあります。

- ※ ① HUD本体の脱着ができない。
- ※ ③ 接続ケーブルが断線する。



ブラケットの取り付け

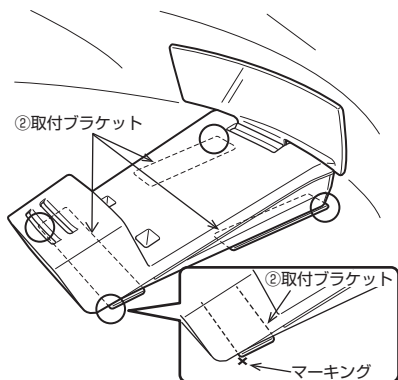
1 ②取付ブラケットを①HUD本体に仮止める



2 取付位置を決め、マーキングする

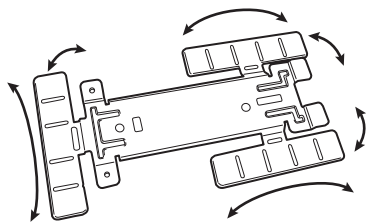
注意

- ②取付ブラケット裏面にある両面テープの剥離紙は、まだ剥がさないでください。



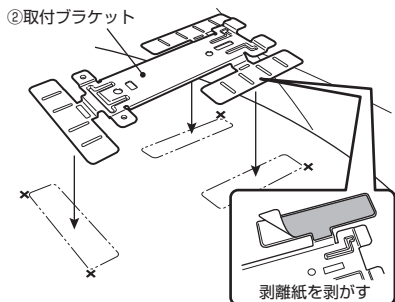
- 前ページの「取付位置について」を確認し、位置を決めてください。
- 水性マジックなどで、②取付ブラケットの位置をマーキングしてください。(上図○の4ヶ所)

3 ②取付ブラケットの形状を曲げて調整する



- 手順3でマーキングした取付面の形状に合わせて、曲げてください。
- ②取付ブラケットの両面テープが貼り付けられている部分を曲げて調整してください。

4 ②取付ブラケットを貼り付ける



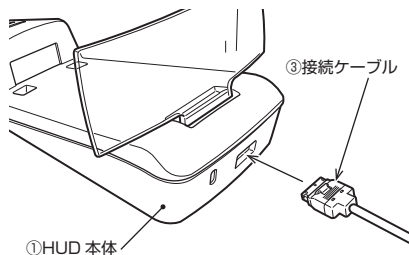
- ②取付ブラケット裏面にある両面テープの剥離紙を剥がしてください。(3ヶ所あります。)
- 手順2でマーキングした位置に合わせて、②取付ブラケットを貼り付けてください。

注意

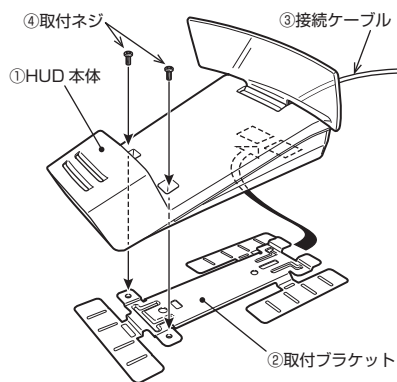
- 前後を間違わないように注意してください。

本体の取り付け

1 ① HUD 本体に③接続ケーブルを接続する



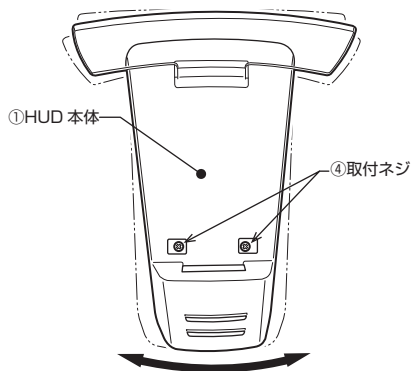
2 ① HUD 本体を②取付ブラケットに取り付ける



- ②取付ブラケットに①HUD 本体を取り付けた後、④取付ネジで固定します。

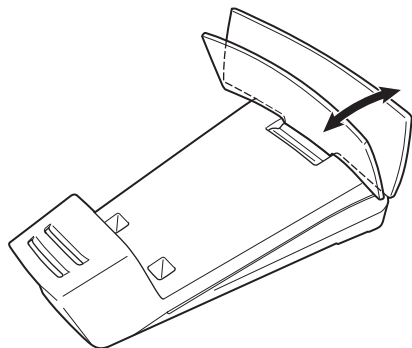
■ 取付角度を微調整する

④取付ネジを緩めると、左右の角度を微調整することができます。



■ ディスプレイの角度を調整する

液晶画面表示がディスプレイに映るよう、ディスプレイの角度を手で調整することができます。

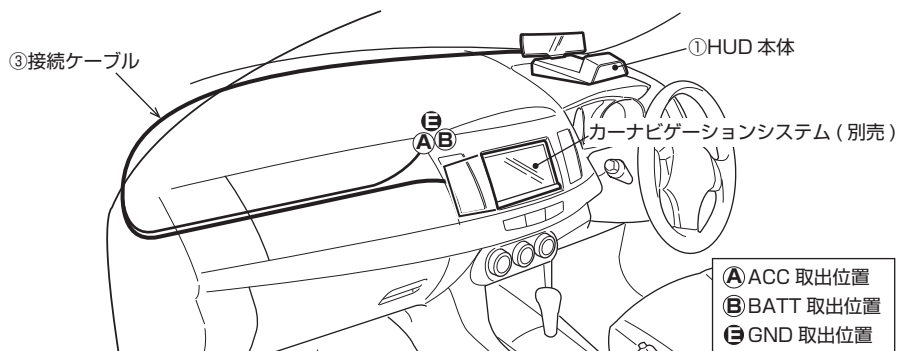


取付・配線例

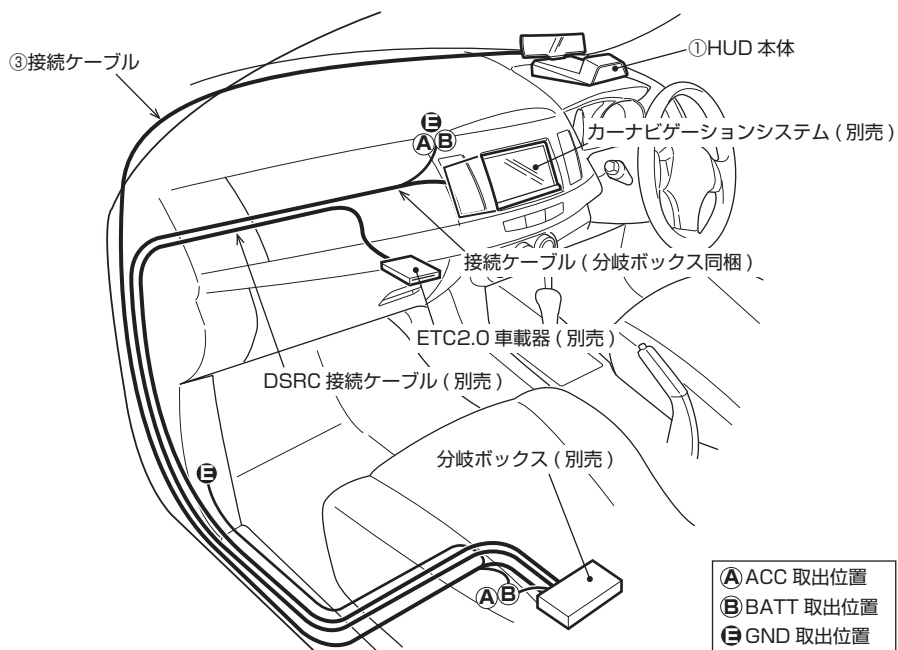
以下は取付・配線の一例です。

車両部品を取り外す必要があれば、取り付ける車両の整備解説書を見ながら、正しく行ってください。取り付ける車両によっては、③接続ケーブルが車両内部におさまらない場合があります。

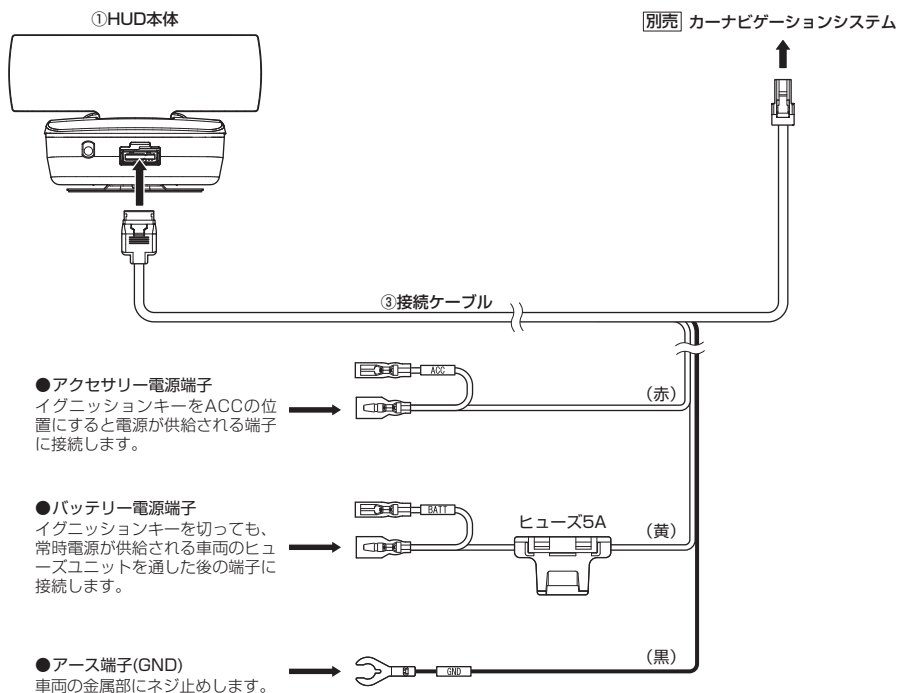
■ HUDのみ取り付ける場合



■ ETC2.0車載器と同時接続の場合



接続方法

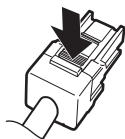


■ コネクターの脱着について

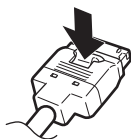
各コネクターの接続時は確実に奥まで差し込んでください。

また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

接続ケーブルのコネクタ
(カーナビゲーションシステム側)



接続ケーブルのコネクタ
(HUD本体側)



三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)



N871L70910 16-08